

獨協大学外国語教育研究所主催 第15回公開講演会
Institute for Research in Foreign Language Teaching, Dokkyo University

『学習としての評価』とは何か

ー ライティング教育とパフォーマンス評価をめぐって



松下佳代氏

(京都大学大学院教育学研究科教授)

■日 時：2025年 **11月29日** (土)
14:30~16:30

■開催方法：Zoomウェビナーを使用した
オンライン開催

■使用言語：日本語

■参加費：無料

■申込方法：事前申込制

獨協大学ホームページ

「第15回公開講演会申込ページ」

または

QRコードよりお申込みください。

■主催：獨協大学外国語教育研究所

■モデレーター：木村 雪乃

(外国語教育研究所主任研究員)



▲お申込みはコチラ

『学習としての評価』とは何か — ライティング教育とパフォーマンス評価をめぐって

開催趣旨

教育における評価は近年、単に学習成果を「測る」だけでなく、学びを「深める」営みとして捉え直されつつある。とりわけ注目されている「学習としての評価」という考え方では、学習者自身が学びのプロセスを自己調整していくことが重視される。本講演では、京都大学大学院の松下佳代教授を招き、ライティング教育とパフォーマンス評価を題材に、評価と学習の関係を理論と実践の両面から検討する。ルーブリックを用いた評価がなぜ時にうまく機能しないのか、評価を通じて「書く力」の成長をいかに支えることができるのか。こうした問いに対する新たな視座を手がかりに、「学習としての評価」という理念を外国語教育にどのように活かすことができるか、参加者とともに考えたい。

プログラム

- 14:15 Zoom接続開始
- 14:30 開会
- 14:40 松下佳代氏による講演（60分）
- 15:40 休憩（10分）
- 15:50 質疑応答（40分）（モデレーター：木村 雪乃 外国語教育研究所主任研究員）
- 16:30 閉会

<講師> 松下佳代氏

京都大学大学院教育学研究科教授。博士（教育学、京都大学）。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程学修認定退学。専門は、教育方法学、大学教育学。とくに、能力、学習、評価をテーマに研究と実践支援を行っている。主な著作に、『パフォーマンス評価』（日本標準、2007）、『〈新しい能力〉は教育を変えるか—学力・リテラシー・コンピテンシー—』（ミネルヴァ書房、2010）[編著]、『対話型論証による学びのデザイン—学校で身につけてほしいたった一つのこと—』（勁草書房、2021）、『測りすぎの時代の学習評価論』（勁草書房、2025）、『ライティング教育の可能性—アカデミックとパーソナルを架橋する』（勁草書房、2025）[編著] など多数。

Zoom接続環境の確認 <https://zoom.us/test>

本講演会では、ウェビナーツール「Zoom」で行います。お使いのPCやタブレット端末等に「Zoom」アプリをインストールしていただくか、ブラウザから参加していただく形となります。Zoom接続環境を確認してください。上記サイトよりZoom接続テストを行うことが可能です。

【参加までの流れ】

1 申し込む

獨協大学ホームページのイベントページ「第15回公開講演会」の申込URLまたはQRコードから申し込み（ウェビナー事前登録）をしてください。



▲お申込みはコチラ

2 確認メールを受信

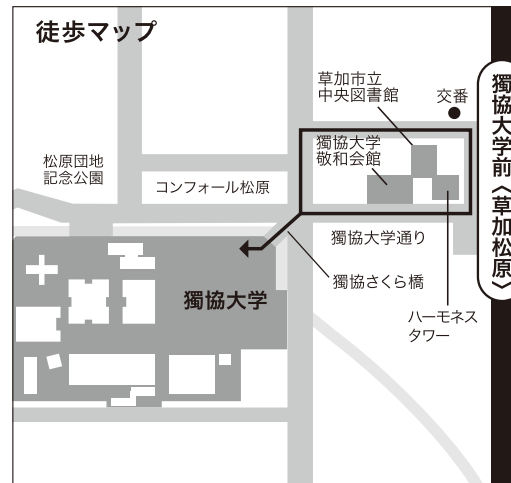
ウェビナー事前登録ページで入力されたメールアドレスに自動送信されます。

3 開催1週間前および前日に リマインドメールを受信

4 当日

14時15分よりアクセス可能となります。申込み完了メールに記載されている参加用URLをクリック、もしくはWebブラウザのアドレスバーにコピー＆ペーストしてください。

5 講演会終了後、アンケートに回答



獨協大学

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1番1号
東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通
東武スカイツリーライン
「獨協大学前（草加松原）駅」
西口より徒歩5分

<連絡先>

獨協大学外国語教育研究所
TEL: 048-946-1845
FAX: 048-946-1846
メールアドレス: gaikokugo@stf.dokkyo.ac.jp
HP: <https://www.dokkyo.ac.jp/research/amanoken/>

